

平成 28 年度 豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について

平成 28 年 4 月 1 日より介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）開始

1. 総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業（サービス事業）

○対象者は、制度改正前の要支援者に相当する者。

- ①要支援認定を受けた者 ②基本チェックリスト該当者（事業対象者）

(新) = 新規事業

(平成 28 年 12 月末実績)

事業	事業名	内容	延人数
訪問型サービス	現行の訪問介護相当	事業所のヘルパーが家庭を訪問し、生活機能の維持・向上を目的に調理・掃除などの生活支援サービスを行う。	69 人 (363 回)
	かっぼうぎサービス (新)	町のシルバー人材センターで一定の研修を受講した者が訪問し、買物等の生活支援サービスを行う。	9 人 (35 回)
通所型サービス	現行の通所介護相当	デイサービスにおいて、生活機能の維持・向上を目的に、運動・入浴・食事などのサービスを受ける。自宅までの送迎サービスあり。	126 人 (796 回)
	元気はつらつサロン (新)	社会福祉協議会に委託し、介護予防に関するサロンを月 2 回開催し、介護予防に取り組む場や集いの場を提供する。	24 人 (6 回)
生活支援サービス	ほっと安心宅配サービス (新)	栄養改善や見守りを目的とし、配食サービス利用の補助を行う。(1 食あたり 140 円)	37 人 (1,094 食)
介護予防ケアマネジメント (新)		総合事業サービスを利用する要支援者・事業対象者に対し、サービスが適切に提供できるようにケアプランの作成・委託、サービスの調整等を行う。	161 人

(2) 一般介護予防事業

○対象者は、65 歳以上の全ての者

事業	内容	延人数
介護予防把握事業	65.75 歳の方の介護予防の必要性を確認するアンケートを送付。必要性が高い方には訪問や電話により介護予防教室等を紹介する。	アンケート配布数 65 歳、75 歳 計 334 人 回収数 232 人 (68.5%) 訪問人数 48 回 176 人
介護予防普及啓発事業	講演会の開催や老人クラブの行事等に参加し、介護予防について普及をする。	講演会 5 回 207 人 老人クラブ体力測定会 計 7 回 92 人
地域介護予防活動支援事業	運動や音楽、折り紙などの介護予防教室の実施。サロンの開催。住民が主体となり地域で介護予防	介護予防教室 計 144 回 延 1,471 人 住民主体活動支援事業

	活動を継続的に実施できるよう活動費の補助を行う。	計 2 団体 12 回 248 人
地域リハビリテーション活動支援事業（新）	介護予防の取組みを機能強化するためにリハビリ専門職による助言等を実施。	3 回 16 人

2. 包括的支援事業・任意事業

事業	内容	延人数
総合相談事業	生活全般に関する相談を受け、情報提供やサービスを紹介する。	26 人
権利擁護事業	虐待の早期発見、消費者被害の未然防止など、高齢者の権利を守る取組みを実施する。	権利擁護に関する周知 （2月広報掲載予定） 高齢者虐待対応会議 1回
包括的・継続的ケアマネジメント	高齢者への支援を行う様々な機関の連携体制を構築する。	地域ケア会議 4回 ケアマネジャー研修会 （3月開催予定）
家族介護支援事業	要介護者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続していくための支援体制を構築するため、サポーター養成、認知症ケアパスの普及、介護者支援、徘徊高齢者への対策等を行う。	認知症サポーター養成講座 計 8 回 614 人 〔小学校 3 回 511 人、 アピタ職員 5 回 103 人〕
在宅医療・介護連携推進事業（新）	住み慣れた地域に必要な医療と介護サービスを受け生活することができるよう、住民への情報提供や在宅医療と介護の専門職同士の連携体制を構築する。	住民向け講演会 1 回 48 人 地域資源マップの公開 〔医療機関 12 施設 介護施設 39 施設〕 医療・介護連携システムの導入（電子@連絡帳） 利用患者 1 名
生活支援体制整備事業（新）	高齢者の生活ニーズを把握し、多様な主体による多様な生活支援サービスの提供体制を構築する。	研究会（高齢者介護係、社会福祉協議会、シルバー人材センター、包括） 計 3 回

3. 介護予防支援事業

事業	内容	延人数
介護予防支援事業（介護予防サービス計画作成）	介護予防サービスを利用する要支援者に対するケアプランの作成・委託、サービスの調整を行う。	672 人